

平成26年9月4日

都内私立中学高等学校  
校 長  
国 語 科 教 諭 殿  
関 係 教 職 員

一般財団法人東京私立中学高等学校協会  
会 長 近 藤 彰 郎  
東京私学教育研究所所長 清 水 哲 雄  
文系教科研究会委員長 畑 澤 正 一  
(共催：公益財団法人東京都私学財団)

## 文系教科研究会（国語）「講演会」のご案内 — 『源氏物語』の思想は、平和か破壊か—

平成26年度文系教科研究会（国語）第2回「講演会」のご案内をいたします。

今回は、講師に島内景二先生をお迎えし、『源氏物語』の思想は、平和か破壊か」という演題でご講演いただきます。

島内先生は、『源氏物語』がご専門であると同時に、近代短歌にも造詣が深くていらっしゃいます。近年、島内先生はアララギの本質が「平和と調和の思想としての源氏文化」への叛逆であることを喝破し、ながらみ書房『短歌往来』にて、『源氏物語』では西洋文明と戦えないのか。そもそも、戦う必要があるのか」をテーマに連載されています。

今回のご講演では、『源氏物語』の思想は、平和か破壊か」という刺激的なテーマで、日本文化は「もののあはれ」といえるのかという、核心部分をお話しいたします。源氏文化を成熟させた柳沢吉保と北村季吟が願った異文化統合の「平和と調和」に対して、本居宣長・正岡子規の日本文化は「戦いと破壊」の変革の思想だと先生はおっしゃいます。これは、学校教育で『源氏物語』を「もののあはれ」の文学だと教えてもよいかという課題にもつながります。

島内先生のお話を聴くことができる貴重な機会です。校務多忙の時期とは存じますが、万障お繰り合わせのうえ、奮って参加くださいますようご案内申し上げます。

### 記

1. 日 時 平成26年11月17日（月） 18:00～20:00
2. 会 場 アルカディア市ヶ谷（私学会館） 千代田区九段北4-2-25 Tel. 03(3261)9921（代）  
※ 裏面案内図をご参照ください。
3. 講 師 電気通信大学 教授 しまうち けいじ 島内 景二 先生

#### 【プロフィール】

1955年長崎県生まれ。電気通信大学教授。博士（文学）。東京大学文学部と大学院で師事した秋山虔氏から、文芸批評と文学史の大切さを教わる。塚本邦雄の前衛短歌にも影響を受ける。『源氏物語』と現代短歌の二つの視点から、日本文化の本質に迫っている。大学院在学中には、都内私立中高と予備校で教壇に立った経験がある。著書の『源氏物語ものがたり』と『文豪の古典力』は、東京都立高校の個別入試に出題された。その他の著書に、『源氏物語の影響史』『三島由紀夫』『柳沢吉保と江戸の夢』『心訳・鳥の空音』など。歌集『夢の遺伝子』。歴史時代小説の文庫本解説も多数。

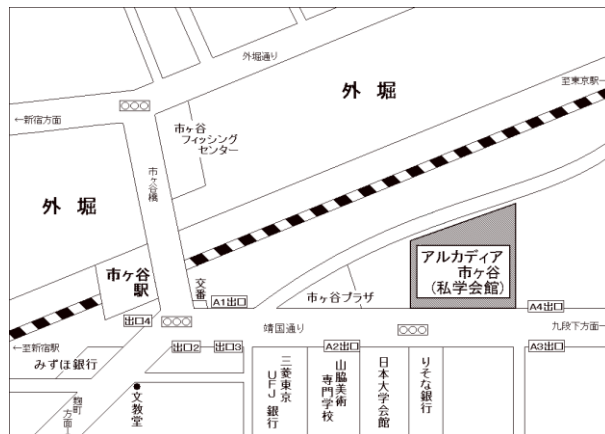
4. 参加費 無料 (本研修会は、当協会会員各校の拠出金と (公財) 東京都私学財団からの補助金で運営しております)
5. 定員 70名 (申し込み順 ⇒ 定員になり次第締め切ります)
6. 運営委員 二俣 潤也 (京華女子中学校・高等学校)
7. 申込方法 11月10日 (月) までに下記宛 Web もしくは FAX にてお申込みください。

URL [http:// k.tokyoshigaku.com](http://k.tokyoshigaku.com)

東京私学教育研究所 文系教科研究会 (国語) 担当: 岡沢・松田

TEL 03-3263-0544 FAX 03-3263-0560

《案内図》



■交通のご案内



地下鉄 有楽町線・南北線  
市ヶ谷駅 (1またはA1) 出口



地下鉄 新宿線  
市ヶ谷駅 (A4またはA1) 出口



JR中央線(各駅停車) 市ヶ谷駅  
上記改札・出口から徒歩約2分

切り取らずにそのままFAXしてください。送り状は不要です。

文系教科研究会 (国語) 「講演会」参加申込書

[11月17日 (月) 実施]

学校名	氏名 (ふりがな)

上記の通り参加申し込みいたします。

東京私学教育研究所 御中

平成26年 月 日

校長 ㊟

※FAX受理、受付完了等の連絡は省略いたします。(本申込書をお送りいただいた時点で受付完了です)  
申込確認が必要な方は、下記にご記入ください。後日、申込書受理書をFAXでお送りします。

・希望する

理由等	FAX番号:
-----	--------